

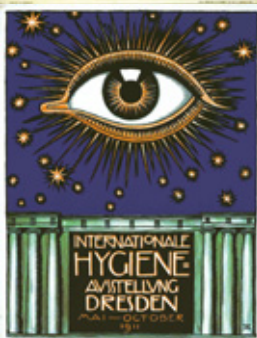


MODERNE DEUTSCHE ドイツ・ポスター 1890-1933 PLAKATE

開館時間：午前9時30分～午後5時（入館は午後4時30分まで） 休館日：毎週月曜日 主催：京都国立近代美術館、読売新聞大阪本社、読売テレビ
後援：ドイツ連邦共和国総領事館、Goethe-Institut/ドイツ文化センター、日本グラフィックデザイナー協会、日本デザイン学会
協賛：ビーバンジョア 特別協力：竹尾 協力：☺ Lufthansa ☺ Lufthansa Cargo 白木屋画材額縁店 助成：POLA ART FOUNDATION



2008.2.26(火)～3.30(日) 京都国立近代美術館 [岡崎公園内]



1. トーマス・テオドール・ハイネ〈挿絵週刊誌「ジンプリツィムス」〉1896年 / 2. ヤン・チヒョルト〈フェブス劇場「ナポレオン」〉1927年 / 3. ヴィリーズ・バス〈ドイツ〉1927年頃 / 4. フランツ・フォン・シュトゥック〈国際衛生博覧会、ドレスデン〉1911年 / 5. オットー・アルブケ〈IPA、国際毛皮製品博覧会、ライプツィヒ〉1930年 / 6. マックス・ピトロフ〈滋強飲料カルピス〈国際懸賞募集ポスター二等入選〉〉1923年 / 7. ルツィアン・ベルンハルト〈シュティラー靴店〉1908年 / 8. ルートヴィヒ・ホルヴァイン〈カール・シュティラー・ジュニア靴店〉1910年 / 9. フリッツ・ルンプフ〈発泡酒ゼーテンライン、ラインゴルト〉1914年以前 / 10. セザール・クライン〈労働者、市民、農民、兵隊、全てのドイツ人民は団結し、国民集會に参加せよ〉1918年 / 11. マックス・ブルヒャルツ〈国際展「芸術と広告」〉1931年

所蔵先: 1・8・11—ディ・ノイエ・ザンムルンク、州立応用美術館、ピナコテーク・デア・モデルネ内デザイン部門、ミュンヘン / 2—ベルリン国立博物館群、美術図書館、ベルリン / 3・7・9—竹尾ポスターコレクション / 4・5・10—宇都宮美術館 / 6—凸版印刷株式会社 印刷博物館

1	7
2	8
	9
3	10
	11
4	
5	
6	

19世紀末に創刊された美術雑誌『パン』や『ユーゲント』そして1920年代バウハウスのグラフィック・デザインはすでに当時から日本でもよく知られていました。しかし、ドイツにおけるグラフィックとりわけポスターの発展と展開を紹介したような展覧会は、これまで開催されてきませんでした。

19世紀末にはフランスを中心としてロートレックなどのいわゆる「絵画的ポスター」が脚光を浴びますが、その動向ならびにイギリスからの影響を受けて、ドイツでも、1900年頃から近代的なポスター、つまり画とテキストが融合した新しい視覚媒体への関心が高まり、第一次世界大戦前に最初の黄金期を迎えます。その際に特徴的なのは、19世紀的な「絵画的ポスター」から、ベルリンを中心としていわゆる「ザッハブラカート(即物的ポスター)」が台頭してきたことです。中でもベルンハルトはその代表的作家として、広告ポスターの基本要素を三つのパーツ「画・背景・テキスト」に還元し、美的でありながら瞬間的な内容伝達を可能にする新たな画面構成を創造しました。例として1908年に靴販売店「シュティラー」のために制作されたポスターなどが挙げられます。新しい芸術分野であったポスターは、商業活動と結びつき急速にその裾野を広げていきました。熱心な個人コレクターも登場し、ベルリンの医師ハンス・ザックスは1905年に「ポスター愛好者協会」を設立し、雑誌『ポスター(Das Plakat)』を主宰して、この新興芸術の普及に努めています。広告ポスターで発揮された高い伝達能力は、政治分野においてもプロパガンダ・ポスターとして利用されることになり、第一次世界大戦中には一連の戦争ないし銃後のポスターが、戦後には政治的(政党)ポスターが製作されました。その時、メッセージの伝達性という目的においては、広告とプロパガンダの境界は極めて曖昧なものとなり、そしてこの両分野における経験を背景に、ヤン・チヒョルトなどの新たなデザイナーたちによって、ドイツのポスターは第二次世界大戦前、第二の黄金期を迎えることになるのです。

本展覧会ではさらに、「カルピス」の国際懸賞広告ポスターや杉浦非水を中心とした「七人社」の活動など、同時代の日本におけるドイツ・ポスターの受容・展開を示す作品・資料を加え、ドイツ近代ポスターがもつ魅力と先進性を、国内外から集められた約180点で多角的に検証します。

MODERNE DEUTSCHE ドイツ・ポスター 1890-1933 PLAKATE

■講演会

「ドイツ・ポスターの近代(仮題)」 3月1日(土)午後1時30分から3時
講師:ルネ・グローナート(ドイツ・ポスター博物館長)

■シンポジウム

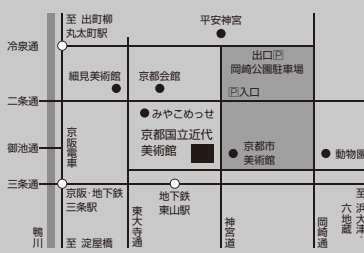
「ポスターにおけるジャポニズム(仮題)」 3月22日(土)午後1時30分から5時
共催:ジャポニズム学会(詳細はお問い合わせ下さい)

(ともに当館1階講演室にて。聴講無料、先着100名、午後11時から整理券を配布します)

	当日	前売り	団体
一般	1,300円	1,100円	1,000円
大学生	1,000円	800円	700円
高校生	600円	400円	300円

※団体は20人以上 ※中学生以下、心身に障害のある方と付添者1名は無料(入館の際に証明できるものを提示ください)

おもな前売券発売場所 チケットぴあ(コード:687-673)、ローソンチケット(コード:55794)ほか主要プレイガイド、コンビニエンスストアで2008年1月12日より前売り開始予定



- JR・近鉄京都駅前(A1のりば)から市バス5番倉倉行「京都美術館前」下車すぐ
 - JR・近鉄京都駅前(D1のりば)から市バス100番(急行)銀閣寺行「京都美術館前」下車すぐ
 - 阪急烏丸駅・河原町駅、京阪三条駅から市バス5番倉倉行「京都美術館前」下車すぐ
 - 阪急烏丸駅・河原町駅、京阪四条駅から市バス46番平安神宮行「京都美術館前」下車すぐ
 - 市バス他系統「東山2条」または「京都美術館前」下車徒歩約5分
 - 地下鉄東西線「東山駅」下車徒歩10分
- ※京都国立近代美術館には専用駐車場はございません。岡崎公園駐車場(地下)をご利用の有料入館者は、駐車場の割引(1名1台)を受けられますので、駐車券をお持ちの上お越しください。

京都国立近代美術館 [岡崎公園内] 〒606-8344 京都市左京区岡崎円勝寺町 TEL. 075-761-4111
テレホンサービス(展覧会のご案内): TEL. 075-761-9900 ホームページ <http://www.momak.go.jp>